

# 監事監査報告書

令和4年5月20日

学校法人 清風明育社  
理事会 御中  
評議員会 御中

学校法人 清風明育社  
監事 的場 勝彌  
監事 田中 祥宏



私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人清風明育社寄附行為第18条の規定に基づき学校法人清風明育社の令和3年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日）の業務並びに財産の状況について監査を行った。

私たちは、監査にあたり、理事会及び評議員会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続きを実施した。

監査の結果、学校法人清風明育社の業務及び財産の状況は適切であり、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に反する重大な事実はないものと認める。

以上

## 財 産 目 録

1. 資産総額		1,061,859,641 円
I 固定資産		785,233,523 円
II 流動資産		276,626,118 円
2. 負債総額		429,169,774 円
I 固定負債		80,000,000 円
II 流動負債		349,169,774 円
3. 正味財産 (1 - 2)		632,689,867 円

### 内 訳

1. 資産総額		1,061,859,641 円
I 固定資産		785,233,523 円
土 地		562,796,284 円
建 物		146,708,076 円
建 物 付 属 設 備		37,427,137 円
構 築 物		14,693,020 円
教 育 研 究 用 機 器 備 品		1,553,160 円
管 理 用 機 器 備 品		1,372,912 円
図 書		1,407,833 円
車 両		2 円
電 話 加 入 権		507,200 円
収 益 事 業 元 入 金		18,244,599 円
保 証 金		523,300 円
II 流動資産		276,626,118 円
現 金 預 金		228,248,565 円
未 収 入 金		16,980,384 円
短 期 貸 付 金		3,027,749 円
前 払 金		24,893,954 円
立 替 金		150,466 円
仮 払 金		3,295,000 円
預 け 金		30,000 円
2. 負債総額		429,169,774 円
I 固定負債		80,000,000 円
長 期 借 入 金		80,000,000 円
II 流動負債		349,169,774 円
未 払 金		24,772,184 円
前 受 金		275,760,902 円
預 り 金		48,636,688 円

令和3年度  
事業報告書

(令和4年6月)

学校法人 清風明育社  
清風情報工科学院

# I. 法人の概要

## (1) 教育の方針と理念

### (教育の方針)

日本の伝統的信仰に立脚し、「徳・健・財」3拍子揃った姿で世の中に尽くす人材に育てる

### (理念)

- ・ 達成力を育て、自信と喜びを与える学校
- ・ 社会から安心・信頼・尊敬される人材を育てる学校
- ・ 徳・健・財を兼ね備え、世直しに取り組む人物を育てる学校
- ・ 教育を通じて教職員が使命を達成する学校

## (2) 学校法人の沿革

- 昭和 63 年 3 月 学校法人オージー総合学園 設立  
 4 月 オージスコピュータ学院専門学校 開校  
 平成 14 年 4 月 学校法人清風明育社に名称変更  
 清風情報工科学院に名称変更  
 平成 15 年 4 月 工業専門課程情報メディア学科(2年制)  
 「専門士」付与課程認定 (文部科学大臣認可)  
 文化・教養専門課程 日本語科 開設 (大阪府知事認可)  
 平成 18 年 6 月 工業専門課程総合コンピュータ学科(4年制)  
 「高度専門士」付与課程認定 (文部科学大臣認可)  
 平成 25 年 4 月 工業専門課程コンピュータ総合学科(2, 3, 4年制)  
 「職業実践専門課程」認定 (文部科学大臣認可)  
 平成 27 年 10 月 日本語教師養成講座 (別科) 開講

## (3) 設置する学科等および学生数の状況 (令和 3 年 5 月 1 日現在)

課程名	学 科 名	修 業 年 限	入 学 定 員	総 定 員	5/1 在籍数	総 在 籍 実 績 数
工 業 専門課程	デザイン・コンピュータ学科 (4年制)	4年	20名	80名	13名	13名
	デザイン・コンピュータ学科 (3年制)	3年	40名	120名	127名	127名
	デザイン・コンピュータ学科 (2年制)	2年	30名	60名	35名	35名
	グローバルIT学科 (2年制)	2年	40名	80名	41名	41名
	小 計		130名	340名	216名	216名
文化・教養 専門課程	キャリア専攻科	1年	40名	40名	39名	39名
	日本語科 2年コース	2年	56名	112名	25名	25名
	日本語科 1年半コース	1年半	56名	112名	74名	74名
	小 計		152名	264名	138名	138名
	計		282名	606名	354名	354名

(4) 理事・評議員の概要（平成3年5月1日現在）

	定員	現員数	氏名等
理事	6名	6名	平岡 龍人（学校法人理事長） 平岡 憲人（専務理事 清風情報工科学院校長） 大谷 志津雄（無職） 木下 肇（弁護士） 森 寛勝（宗教法人代表役員） 濱田 正勝（学校法人職員）
監事	2名	2名	石岡 信吾（無職） 的場 勝彌（会社役員）
評議員	13名	13名	平岡 龍人（理事長） 平岡 憲人（専務理事 清風情報工科学院校長） 綱崎 勝彌（会社員） 橋本 俊洋（会社員） 大谷 志津雄（理事） 左藤 章（衆議院議員） 山口 義孝（学校法人理事） 森 寛勝（理事 宗教法人代表役員） 森井 英一（医師） 松久 宗英（医師） 一階 良知（IT塾長） 神前 良行（学校法人職員） 高村 幸一（学校法人職員）

(5) 教職員の概要（平成3年5月1日現在）

	常勤	非常勤	合計	備考
教員	15名	31名	46名	
職員	21名	6名	27名	
合計	36名	37名	73名	

## II. 事業の概要

(1) 事業の目的・計画及び進捗状況と今後の取り組み

① デザイン・コンピュータ学科

令和3年度は新型コロナウイルスの影響で登校できない状況が続きました。

そのような状況でも、当校では Zoom を用いたオンライン授業を早期より準備しており、昨年度と同様にプロアクティブな人材を目指すという学科目標をたて、学生の自発的学習、行動を促してまいりました。

その結果、学生の成長、作品制作の意識向上、卒業進級制作での積極的な姿勢などが功を奏しています。

加えて、平成29年度より行っているカリキュラム改編の結果が出つつあり、課題解決型（デザイン思考的）モノ作りが学生に浸透してまいりました結果、今年度の卒業進級制作発表会ではコロナ渦の中、100社を超える企業様に来校いただき、高い評価をいただきました。

それにより、就職のきっかけや学生たちの励みになる状況となっております。

就職活動に関しては、世の情勢として厳しいと言われている中で、一部上場企業をはじめ、IT・デザイン・ゲーム関連の企業への内定を例年と変わらぬ推移で獲得できました。

シリコンバレージャパンカレッジ（シリコンバレー日本大学）  
<http://www.svju.org/>との学術交流協定を行っている本校では、毎年アメリカに渡航していましたが、本年度は8月末にオンラインでの研修を実施しました。

研修ではシリコンバレーの有名な企業に勤める講師陣より指導を受け、短期間ではありましたが、大きな成長成果を得ることができました。

新型コロナウイルスの流行から早2年となりますが、当校では最初期よりオンライン授業のための環境を導入し、「学びを止めない！」取組に着手し（Zoom、LAN 増強、マイクカメラ、Google Education など）オンライン授業を取り入れ対応し現在に至っております。

その後の緩和に伴い、学生の体調管理チェックを毎週行い、状況を把握し、3密対策を取りながら、登校授業型にシフトしつつオンライン授業との受講並走している状況です。

令和4年度も、Zoomを用いたオンライン授業を併用しつつ、より一層の教育の充実を図っていきたいと考えております。

## ② 日本語科

在校生について、学業面はクラス下位層の学力を目標に届くまで伸ばすことができませんでしたが、中上位層はN3(3名)N2(1名)に合格することができました。卒業対象生の一部が、年度途中の早い時期から3年次継続への意思表示をしまい、受験に向けての高揚感がないまま年度末を迎えてしまった点も反省点として認識しています。

進路面は、随時進路が決まり、概ね順調に結果を出すことができました。

生活面は、体調不良で授業を欠席することが多くあり、不安定でした学業・進学に影響が出る学生もいました。また、1年間で7名の学生が新型コロナの陽性判定を受けましたが、その都度保健所と連携して対応し、いずれも重症化することなく完治しました。また、教室や共用スペースを消毒するなど、更なる感染拡大を防止すべく対応しました。

その他に、大きな病気の罹患者は発生しませんでした。

自転車での接触事故が4件発生しましたが、その原因は①夜間の逆走（右側走行）②雨中の傘さし走行③信号無視④細い道からの飛び出しであり、これまでも繰り返し何度も何度も注意喚起してきたことばかりであったことが残念でした。改めて基本的なことを徹底する必要性を痛感しました。

コロナの影響で飲食店でのアルバイトをはじめ、多くの業種でアルバイトの募集が激減しましたので、日本語力が十分ではない学生向けのアルバイト先の開拓に苦労しました。

別途、新聞奨学生の開拓に尽力しました。

一方、約30名のオンライン授業参加者は、来日の目処が立たない中で開講し、年度末まで100%オンラインの授業が続きましたが、概して学習意欲が高く、モチベーションを維持し、年度末まで頑張ったことは評価できると考えています。

実力にばらつきがあり、基本が定着していない人の学力をオンライン授業でどう上げるか、課題が残っていると考えています。

## ③ キャリア専攻科

令和3年度は、学習意欲が高い学生も多く、授業や対外的な試験にも真剣に取り組みましたが、N1合格・EJU300点越えにまでは伸ばしきれなかった学生がいたことは残念でした。

進学に関して積極的に動ける学生が多かった一方、コロナの影響で経済的余裕が

無くなる等、困難な状もありましたが、キャリア専攻科の学生は全員進路決定しました。

学生募集に関して、コロナ影響で海外からの留学生入国の目処が立たなかったことから、学生確保のために、早々に卒業予定者の3年次継続を決定する学校が相次ぎ、校内ガイダンスを実施する学校が減り、会場ガイダンスも、参加学生が激減、中止になるケースも出てくるなど、学生と直接コンタクトを取ることができる機会が減る等、学生募集にとっては非常に厳しい状況が予想されたので、今年度初めて指定校推薦制度を取り入れ、日本語学校に強力で押し進めていった結果、昨年を上回る学生数を獲得できました。

今後、卒業予定学生のさらなる減少、コロナの影響が不透明な状況下が見込まれますので、内部生の口コミにおける満足度アップに向けて、教務の先生方との連携も必要となりますし、プレテストの実施の検討、広報ツールの見直しを進める予定です。

#### ④ グローバルIT学科

令和3年度は、学科設置初年度として、コンピューター日本語習得に努めましたが、ハードルは高く、1年次は試行錯誤の状況でした。

しかし、教育の成果として、就職に必須のN2以上合格者が、年度初めの1/3以下から、年度末には2/3超まで向上しました。引き続き、1年次でのクリアを目指すとともに、2年次では、ITパスポート対策授業を受けることが企業ニーズと考えて、更なる語学力の向上を目指します。

就職先開発においては、求人先開拓に努めるとともに、企業ニーズの把握に努めました。

IT業界就職といえども、まずは日本語能力向上が絶対条件であることの理解・徹底が必要となりました。

資格取得には、試験日の早期告知・小テストの毎回実施がモチベーション維持に役立つほか、プログラミング授業においては落ちこぼれを作らない補講・チュータ配置が絶対条件と考え、整備するとともに、日本語・IT業界・就職まで工程管理できるマネジメンター配置が必要と感じました。

### (2) 施設等の状況

#### ① 所在地

大阪市阿倍野区丸山通1丁目6番3号

#### ② 主な施設設備の状況

施設設備	面積	備考
校地	1,479 m <sup>2</sup>	校舎敷地 1,245 m <sup>2</sup> その他 234 m <sup>2</sup>
校舎	1,915 m <sup>2</sup>	普通教室 964 m <sup>2</sup> その他 951 m <sup>2</sup>

### (3) その他

#### ① 日本語教師養成講座（別科）

12期生 令和3年4月開講	21人	
13期生 令和3年10月開講	14人	

② 文部科学省委託事業

- 「ポストコロナ時代の海外日本語教師養成プログラム構築」  
(3年計画の2年目)

事業趣旨 外国人労働者の受け入れ推進に伴い、主に海外在住の日本人に向けて、日本号教師育成のプログラムの構築  
日本語科の教員研修体制の確立・不足教材の補完

進捗状況 海外におけるマーケット調査を行うとともに、オンラインを利用するハイブリッド型教育カリキュラムや教材の開発に着手しています。

### Ⅲ. 財務の状況

(1) 決算の概要

令和3年度においては、新型コロナ感染拡大の影響を受け、新たな留学生の来日がなく、オンライン授業を受ける学生も減少しましたので、引き続き、大幅な減収となり、資金収支、事業活動収支、ともに赤字となりました。

(2) 経年比較

① 資金収支計算書

(単位：千円)

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
学生生徒等納付金収入	345,815	358,388	384,373	350,559	336,588
手数料収入	4,082	3,694	4,245	4,057	2,485
寄附金収入	0	0	0	0	0
補助金収入	0	0	3,817	1,046	0
資産運用収入	3	3	0	0	0
事業収入	19,172	28,924	29,512	35,830	27,764
雑収入	918	10,134	2,822	3,582	8,305
借入金等収入	0	0	0	0	110,000
前受金収入	202,301	224,373	221,860	266,629	292,228
資金収入調整勘定	▲195,992	▲225,826	▲253,675	▲303,250	▲246,046
その他の収入	99,661	116,737	169,245	160,932	234,813
前年度繰越資金	131,714	154,118	154,511	130,148	87,621
収入の部合計	607,678	670,549	716,712	649,534	853,770
人件費支出	205,251	232,532	237,808	251,578	275,999
教育研究経費支出	79,624	95,405	100,266	98,068	78,153
管理経費支出	66,672	76,098	68,978	67,947	53,052
借入金等利息支出	0	0	0	0	504
借入金等返済支出	0	0	0	0	30,000
施設関係支出	0	0	46,554	4,510	▲1,785
設備関係支出	1,568	345	339	0	1,258
資産運用支出	0	0	0	0	0
その他の支出	125,915	136,306	168,269	165,661	226,439
資金支出調整勘定	▲25,472	▲24,650	▲35,653	▲25,853	▲38,100
次年度繰越資金	154,118	154,511	130,148	87,621	228,248
支出の部合計	607,678	670,549	716,712	649,534	853,770

(注) 数値は、切り捨てで表記しています。



## ② 事業活動収支計算書

(単位：千円)

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	
教育活動収支	学生生徒等納付金	345,815	358,388	384,373	350,559	336,588
	手数料	4,082	3,694	4,245	4,057	2,485
	寄附金	0	0	0	0	0
	補助金	0	0	0	1,046	0
	付随事業収入	19,172	28,924	29,512	35,830	27,764
	雑収入	918	10,134	2,818	3,567	8,305
	教育活動収入計	369,990	401,143	420,949	395,060	375,143
	人件費	205,251	232,532	237,808	251,578	275,999
	教育研究経費	79,624	95,405	100,266	98,068	78,153
	管理経費	79,085	89,285	82,004	82,792	67,242
	その他支出	148	▲8,222	▲2,490	0	0
	教育活動支出計	364,109	409,001	417,589	432,441	421,395
	教育活動収支差額	5,880	▲7,858	3,360	▲37,380	▲46,251
	教育活動外収入	3	3	3	14	21,821
教育活動外支出	0	0	0	0	22,298	
教育活動外収支差額	3	3	3	14	▲477	
経常収支差額	5,884	▲7,855	3,364	▲37,365	▲477	
特別収入	0	8,859	3,817	0	0	
特別支出	0	0	9,622	10,000	7,599	
特別収支差額	0	8,859	▲5,805	▲10,000	▲7,599	
基本金組入額	0	0	▲58,426	0	0	
当年度収支差額	5,884	1,005	▲60,867	▲47,365	▲54,328	

## ③ 貸借対照表

(単位：千円)

	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度
固定資産	788,780	793,044	827,886	807,550	785,233
流動資産	197,537	212,589	180,488	137,121	276,626
資産の部合計	986,317	1,005,633	1,008,375	944,672	1,061,859
固定負債	0	0	0	0	80,000
流動負債	251,018	269,329	273,990	257,653	349,169
負債の部合計	251,018	269,329	273,990	257,653	429,169
基本金	1,011,855	1,011,855	1,070,282	1,070,282	1,070,282
繰越収支差額	▲276,556	▲275,550	▲335,897	▲383,263	▲437,592
純資産の部合計	735,299	736,304	734,384	687,018	632,689
負債及び純資産の部合計	986,317	1,005,633	1,008,375	944,672	1,061,859